

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
西原	162				句読点位置 「ために必要な、」となっているが、「ために、 必要な」が適当と思います		ご指摘どおりに修正します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	343	4.1		Ed	“及び”が連続する	その適用及び周囲及び環境条件 → その適用並びに周囲及び環境条件	修正案に同意します。
加藤	351	4.1		Ed	345 行目と合わせる（対応国際規格はどちらも “unacceptable risk of harm”）	許容可能でないリスク → 許容可能でない危害のリスク	修正案に同意します。
藤原	392			ge	電圧値に 15000V はなくてもよいか。参照の表 B.1,B.2 には 15000V がある		対応国際規格でも 15000V は推奨値となっていないため、 原文のままとします。
加藤	414	4.2.2.4				要求インパルス電圧 → 要求インパルス耐電 圧？	原文に withstand がないの は誤記と考えられる。耐を 追加することに同意しま す。
藤原	571				CTI の略語の元 Comparative Tracking Index を書 いた方が良いのではないか	4.6.3 比較トラッキング指数 (Comparative Tracking Index, CTI)	JISC2134 もあり、 Comparative Tracking Index が比較トラッキング 指数であることは認知され ているとの認識ですが、 571 行目だけは CTI: Comparative Tracking Index を追加します。
藤原	586 589 590 592 ほか				4.6.3.2 内で、比較トラッキング指数 (CTI) と比 較トラッキング指数 (CTI) 値の両方の記載があ るが確認されたい  590 行目は比較トラッキング指数 (CTI) 値の方 が良いように思う		対応国際規格で value が添 えられている CTI には値を 付けています。  590 行目は value が無いの でそのままとします。
藤原	同上				(CTI) は全ての比較トラッキング指数に記載す るものか？		対応国際規格どおりに添え ていますので、そのままと します。
藤原	661				TR C 60664-2-1 は JIS TR C 60664-2-1 か		JIS ではなく標準報告書 (TR) なので、TR C 60664-2-1 で正しいです。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							よって、原案どおりとします。
藤原	648 662 752 880				タイトルは統一（規定値の特定もしくは設計要求事項に）しないでよいか  648 行目には空間距離および沿面距離の設計要求事項とある。  5.2 空間距離の規定値の特定  5.3 沿面距離の規定値の特定  5.4 固体絶縁の設計要求事項		648 行目は対応国際規格が <b>The design requirements of clearances and creepage distances in 5.2 and 5.3</b> であるため、設計要求事項のままとします。  5.2 と 5.3 は意識ですが、素案作成委員会で決定しています。  5.4 は対応国際規格が <b>Requirement for design of solid insulation</b> ですので、そのままとします。
加藤	688	5.2.2.3		Ed	677 行目とどちらかに表現を合わせる	直接接続する回路 → 直結する回路	修正案に同意します。
加藤	691	5.2.2.4		Ed	“ピーク値”は反復ピーク電圧にもかかるのか？ 対応国際規格は “the steady-state peak voltages, the peak value of temporary overvoltages or the recurring peak voltages”	定常状態ピーク電圧，短時間過渡電圧又は反復ピーク電圧のピーク値 → 定常状態ピーク電圧，又は短時間過渡電圧若しくは反復ピーク電圧のピーク値  又は 定常状態ピーク電圧，短時間過渡電圧のピーク値又は反復ピーク電圧のピーク値	→ 定常状態ピーク電圧， <u>又は短時間過渡電圧若しくは反復ピーク電圧のピーク値</u> に同意します。
加藤	711	5.2.3.4		Ed	明確にしてはどうか	2 000 m <u>まで</u> 有効 → 2 000 m <u>以下</u> で有効	修正案に同意します。他にも 4 か所同様に修正します。
加藤	872 ほか	5.3.5 ほか		Ed	丸めるとしか記載がないので、切り上げ、切り捨て等の丸め方についての規定は不要か？	同じ桁数に丸めなければならない → ？	対応国際規格に合わせて今回は原案のままとします。必要があれば、次回の改訂に合わせて IEC に提案しま

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							す。
加藤	895	5.4.3.1			4.2.2.2 参照とあるが、4.2.2.2 では定格電圧について記載している。公称電圧でよいか？	主電源の公称電圧 → ？	定格電圧が取れる主電源の公称電圧であると理解していますので、問題は無いと考えます。
加藤	898 900	5.4.3.1		Ed	4.2.2.1 の推奨値の中で基礎絶縁に定めた値とは、392 行目 (4.2.2.1) の推奨インパルス電圧を示すと考えてよい？		推奨値とは、392 行目の推奨インパルス電圧を意味します。
加藤	922	5.4.3.3		Ed	“値” は不要では	反復ピーク電圧値が → 反復ピーク電圧が	修正案に同意します。
加藤	969、 970	6.1		Ed	定義語 (3.1.43)	抜取試験 → 抜取検査	「sampling test」の用語に合わせることに同意です。
加藤	981-982	6.2.1		Ed	対応国際規格は “steady-state working voltages”、対応国際規格の誤記？	定常状態ピーク電圧 → 定常状態動作電圧	対応国際規格の誤記です。引用先の 5.2.2.4 と同じ、定常状態ピーク電圧が正しいです。(原案のまま)
加藤	984	6.2.1		Ed	試験電圧が必要なのか？	交流試験電圧を必要とする → 交流電圧試験を必要とする ？	対応国際規格の test voltage は誤記 (順番が逆) です。試験を必要とするが正しいですが、引用先の 6.2.2.1.3.2 の表題に合わせて「交流電圧を使用する耐電圧試験を必要とする。」とします。
加藤	1033	6.2.2.1.4		Ed		5.2.3.4 に従って、空間距離は、海拔 2 000m までの → 5.2.3.4 に従った空間距離は、海拔 2000m 以下の	5.2.3.4 の修正に合わせて、修正案に同意します。
加藤	1036	6.2.2.1.4		Ed		2000 m よりも低い場所で → 2000 m 未満の標高で	対応国際規格は、lower than と below で表現が異なるので、変えないでおきま

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							す。
加藤	1099	6.4.2	注記 3	Ed	1245 行目とどちらかに表現を合わせる	高い周波数での絶縁の耐性 → 高周波における耐電圧性能	6.4.8 の注記を、6.4.2 の注記 3 に合わせて、次のようにします。「高い周波数での絶縁の耐性」
加藤	1186	6.4.6.1		Ed	厳密とは少し違うのでは？	より厳密な → より厳重な、より厳しい など	「厳重な」にします。
加藤	1210	6.4.6.3	図 3	Ed	縦軸に $1.25U_{\text{test voltage}}$ とあるが、この 1.25 はどこからきているのか。係数 $F_2$ 倍ということか？	？	係数 $F_2$ 倍 (×1.25) の理解で正しいです。図 3 への追記を検討しますが、次回 amd1 に対応する際の課題とさせていただきます。
加藤	1227-1228	6.4.7		Ed	他の個所と表現を合わせる (1030-1031 行目)	平均値に対するピーク値の値が → ピーク値と平均値との比が	修正案に同意します。
藤原	1237	6.4.7	注記 2		600VA 以上の “以上” は不要ではないか		対応国際規格は、it is sufficient that the rated power of the test equipment is equal or greater than 600 VA. であり、“以上” は必要であると考えますので、そのままとします。
加藤	1250	6.5.1		Ed		必要な値が…印可する必要 → 必要な値を…印可する必要 又は 必要な値が…印可される必要	最初の修正案 (必要な値を…) に同意します。
加藤	1270	6.5.3		Ed	823 行目と表現を合わせる	閉位置 → オフ位置	修正案に同意します。
加藤	1277	6.5.3		Ed	他の個所と表現を合わせる	プリント回路板 → プリント配線板	修正案に同意します。
加藤	1310	6.6.3		Ed	他の個所と表現を合わせる	試験サンプル → 試料	修正案に同意します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	1331 1339 1341 1342	6.8	表 1	Ed	Xの呼称を可能な限り統一する	規定値 X 規定する寸法 X 寸法 X Xの寸法	すべて確認しました。表 1 下の一文のみ、次のように変更します。「Xの寸法最小値は」⇒「最小の寸法 X は」
加藤	1363	図 11		Ed	“状態”の説明文 同じ尺度の言葉に揃える	沿面距離より小さいが…空間距離よりも長い → 沿面距離より小さいが…空間距離よりも <u>大きい</u> 又は 沿面距離より <u>短い</u> が…空間距離よりも長い	「小さい」を「短い」とします。
藤原	1381 1620	5.3.5(?)	表 A.2 表 F.10		空間距離補正のための標高補正係数 空間距離のための標高補正係数 表現を統一した方が良いのではないか	表 F.10 – 空間距離補正のための標高補正係数	対応国際規格はどちらも <b>Altitude correction factors for clearance correction</b> であるため、統一します。表 A.2 の表題に合わせます。
加藤	1517	D.1		Ed	1515 行目と同じ尺度の言葉に揃える	小さくなるまで 低くなるまで	修正案に同意します。
加藤	1549	D.3.2		Ed	“場合”が連続するので、使い分ける	接続した <u>場合</u> に → 接続した <u>とき</u> に	修正案に同意します。
加藤	1549	D.3.2		Ed	“場合”が連続するので、使い分ける	切断される <u>場合</u> → 切断される <u>とき</u>	修正案に同意します。
加藤	1606	表 F.5	注 a)	Ed	第 2 ダッシュ 2 行目 “又は”が連続するので、“若しくは”に替える	表 F.3 <u>又は</u> 表 F.4 → 表 F.3 <u>若しくは</u> 表 F.4	修正案に同意します。
加藤	1609	表 F.6	注記 2	Ed		表 F.6 の → この表の	修正案に同意します。
加藤	1618	表 F.8 (2/2)	注記	Ed	2 行目	表 F.8 による → この表による	修正案に同意します。
加藤	1618	表 F.9 (2/2)	注記	Ed	5 行目	表 F.9 で → この表で	修正案に同意します。
加藤	1636	図 H.1 (2/2)		Ed	一つ目の◇の次の□ (二つとも) 図 G.1 (2/2) の表現と合わせる (一つ目の◇の	表 F.5 の → <u>次を考慮した</u> 表 F.5 の	修正案に同意します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
					次の□)		

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。